

九州産業大学 芸術学部教授 退任記念展

美術館では、年度末で退任する教授の展覧会を毎年開催しています。昨年行われた宇田川宣人教授、柴田益夫教授の展覧会に続き、1月からは、上田勝也大学院教授、大島洋教授、河地知木教授の展覧会を開催します。日本画、写真、グラフィックデザインの各分野で活躍してきた3人の教授の数十年にわたる作品の数々をぜひご覧ください。

九州産業大学美術館だより

美術館に
行こう!

上田勝也大学院教授退任記念展

1月8日(木)ー16日(金)



「想」

九産大の日本画コース開設時から、学生の指導に当たってきた上田大学院教授。今回の退任展では、初期から中期の、家族をテーマにした作品から、近年の女性を描いた作品まで、約35点を展示します。上田教授は、「今回の退任展は私の全貌の縮小版」と語ります。明るい色彩の際立つ初期の作品から、深みや強さを増した近作まで、上田教授の軌跡をご覧ください。



上田 勝也大学院教授
1944年京都府生まれ。東京芸術大学大学院修了。2000年に九州産業大学大学院に着任。日展、日春展等の審査員を務める。

大島洋教授退任記念展

2月7日(土)ー15日(日)



「ハラルの幻」より

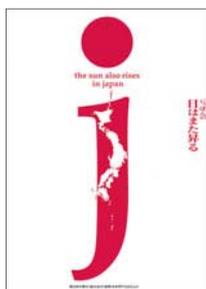
1980年代半ばから2000年代の作品を中心に、代表作のひとつ「ハラルの幻」や、現在も撮り続けている「砂」のシリーズなどが並びます。「可能な限り一つの形にはまらないことを心掛けてきた」と語る大島教授。どんなに作品のスタイルが変わっても、積み重ねた作品に共通した「何か」が作家の個性になっているという思いが、一つ一つの作品に込められています。多彩な作品の中に流れる大島教授の個性を感じ取ってください。



大島 洋教授
1944年岩手県生まれ。15歳でカメラを手にし、写真家として活躍。2006年に九州産業大学芸術学部に着任。写真集「幸運の町」「ハラルの幻」、写真論集「アジェのバリ」など多数。

河地知木教授退任記念展

3月7日(土)ー15日(日)



「につぼんの日はまだ昇る」

ポスターやエディトリアルデザイン、環境の中のサインデザイン、マークやロゴタイプなど、多彩なグラフィック作品を展示します。「人に見せても恥ずかしくないもの」を選んだと語る河地教授ですが、その作品は、学内や地下鉄七隈線のサイン計画など、誰もが目にしたことのあるデザインばかり。約40年におよぶ河地教授の歩みをご覧ください。



河地 知木教授
1944年京都府生まれ。佐賀大学特別教科美術工芸課程卒。1972年に九州産業大学芸術学部に着任。福岡市営地下鉄七隈線サイン計画(共)でSDA賞、GOODデザイン賞受賞など、受賞多数。

美術館

開 館：午前10時～午後5時
(入館は午後4時半まで)

休 館：月曜日、展覧会準備期間

入館料：無料

美術館の催し案内

芸術学部 大学院芸術研究科
卒業・修了制作展

1月22日(木)～29日(木)